

実践的コミュニケーション能力の育成

－第3学年における授業実践－

外国語科（英語） 影山 晃一

1 研究テーマ設定の趣旨

平成10年12月に新学習指導要領が告示された。そこでは、外国語科（英語）の目標は、国際化の進展に対応し、国際社会の中に生きるために必要な資質を養うという視点から、次の三つが設定されている。

- ① 言語や文化に対する理解を深めること
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ること
- ③ 実践的コミュニケーション能力の基礎を養うこと

今回の新学習指導要領の特徴として、目標の「重点化」が挙げられる。平田和人文部科学省教科調査官は、次のように述べている。

「今回の目標の場合には、『実践的コミュニケーション能力の基礎を養う』ということが、一つの重点化された目標になっています。言語や文化に対する理解、あるいは積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度というのは、もちろん外国語学習をしていく中で当然身に付けていかなければならない内容ではあります。しかし、実践的コミュニケーション能力の育成ということを考えた場合には、実際にことばを使ってコミュニケーションを図っていくわけですから、相手にわかってもらおうとする気持ち、相手が言ったことを積極的に理解しようとする気持ち、というものが同時になれば、実践的にことばを使う、コミュニケーションを図る、ということとはできないわけです。ですから、「実践的コミュニケーション能力の基礎を養う」ことに焦点を当てることによって、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成や、国際理解の基礎を培うことは当然必要なものとしてついてくる、あるいはつけなくてはいけない、というふうにとらえています。」

本校の外国語科（英語）では、上記の考え方を基盤に、研究を進めている。

また、「実践的コミュニケーション能力」の概念としては、教育課程審議会答申の外国語の「改善の基本方針」に示されたことや、新学習指導要領の内容から判断し、次のようにとらえることとした。

① 4領域との関わり

「言語の実際の使用場面や言語の働き」と結びついた「話すこと」の表現能力

② 資質・能力との関わり

「情報や相手の意向」や「自分の考え」のような意味内容を伝え合う能力
(高等学校の新学習指導要領で示された目標を参照)

実践的コミュニケーション能力

- ＝「言語の実際の使用場面や言語の働き」と結びついた「話すこと」の表現能力
- ＝「情報や相手の意向」や「自分の考え」のような意味内容を伝え合う能力

本論では、外国語科（英語）の研究テーマを受け、第3学年を対象とした授業実践を通して、実践的コミュニケーション能力を育成する手立てを述べていきたい。

2 研究のねらい・方法

1 研究のねらい

本研究のねらいは、すなわち、第3学年の目標ということになる。しかし、新学習指導要領には、学年目標が示されていない。それに相当するものと考えられる文言が「学習段階を考慮した指導上の配慮事項」に示されている。

「第3学年における言語活動」では次のようになっている。

第2学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを一層広げた言語活動を行わせること。その際、第2学年に加え、特に、様々な考えや意見などの中からコミュニケーションが図れるような話題を取り上げること。

ここで配慮することは、コミュニケーションを図る活動における話題をどのように設定するかである。第2学年においては、「事実関係を伝えたり、物事について判断したりした内容などの中から」と示されていたものが、第3学年では、さらに発展的になっている。学年間の系統性をふまえながら、より話題を広げたコミュニケーションを図る活動を設定していく必要があると考えられる。

また、本校の外国語科（英語）では、前述したことに加え、「自己表現」を重視した言語活動を行っている。「自己表現」の重要性については、大下邦幸（福井大学教授）が次のように述べている。

「生徒が自ら口を開くようになるには、生徒の側に動機がなくてはならない。そうした動機をいかに高めるかが指導の工夫ということになる。この点についてヒントになるのは、レラバンス(relevance:自己関与度)という概念である。レラバンスとは、簡単に言えば、我々がある事柄に対して感じる関わりの度合いのことである」。

このことから、実践的コミュニケーション能力の育成について、その表現の意欲を高める点から、「自己表現」が有効であることが考察できる。

以上のことから、第3学年の学年目標を次のように設定した。

生徒自身の考えや意見などに基づくことを話題にしたコミュニケーションを図る活動を通して、言語や文化に対する理解を深めるとともに、英語を理解し、表現することに慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を高め、実践的コミュニケーション能力を身に付けることができる。

2 研究の方法

(1) 年間指導計画の作成・実践

ア 年間指導計画の作成の基本方針

本校の外国語科（英語）では、年間指導計画の作成にあたり、新学習指導要領第2

章の「3 指導計画の作成と内容の取扱い (1) 指導計画の作成上の配慮事項」で述べられているアからクまでの内容の中からいくつかを重点項目とするとともに、「自己表現を重視する」という研究テーマをふまえて行うことにした。

イ コミュニケーションを図る活動の配列の工夫

前述した第3学年の目標の達成を目指すには、まず、各課のそれを達成しなければならない。従前の年間指導計画では、使用している教科書の指導内容と指導順序を指導計画に仕立て直していたという反省があった。今回は、各課の指導計画において、目標を見据えたコミュニケーションを図る活動を設定するようにしてみた。そうすることにより、各単位時間ごと役割が明らかになり、計画性・系統性のある実践になるのではないかと考えた。

ウ コミュニケーションを図る活動の見直し

「自己表現」をコミュニケーションを図る活動に取り入れることは前述した。そこで、その内容を、何に基づくものにするかを検討した。まずは、言語材料の習得とのかかわりからくるもの、もう一つは、題材内容について理解したことや、それに対する気持ちや考えに基づくものの二つを考えた。これら二つの特徴を表にしてみる。

	コミュニケーションを図る活動	
ねらい	「実践的コミュニケーション能力」の育成	
	言語材料の習得	題材内容に対する理解の深化
自己表現の型	特定の言語材料を用いた自己表現（考えや経験）	題材内容に対する自己表現（気持ちや考え）
ねらいへの位置付け	手段（タスクを達成する過程において言語材料の定着を図る）	目的（気持ちや考えを表現することによりタスクを達成する）
重視する対象	言語材料の適切な使用＞自己表現の内容	自己表現の内容（言語材料は特定できない場合が多い）
タスクのとらえかた	タスクの完成に成功するためには特定の言語材料が不可欠である	ねらいとする言語材料を必ずしも使わなくてもタスクを完成することが可能

言語材料について理解したり練習したりする活動	互いの気持ちや考えを伝え合うなどのコミュニケーションを図る活動
言語形式習得優先	意味の伝達優先

言語材料の習得をねらいとした教材は多く作成してきたが、ここで、題材内容に対する理解の深化をねらいとしたものを作成する必要が出てきた。そのようなものを開発するとともに、2種類のコミュニケーションを図る活動を単位時間のねらいをふまえてバランスよく指導計画に位置付けることで、それらが、実践的コミュニケーション能力の育成に、

効果的になるようにしてみた。

(2) 特設の指導計画の作成・実践

本年度（平成13年度）における第3学年の外国語科（英語）配当時数は140時間である。しかし年間指導計画は、移行期間により122時間で設定した。その差となる18時間について、10時間は、来年度の選択教科（英語）の試行、8時間については、特設の指導計画による授業に充てた。

ア ねらい

生徒が自己表現するために、「自分の意見を持とうとし、それを表現しようとする」といった情意面に関わる手立てや「どのような方法で自分の気持ちや考えを持つのか」といった方法面に関わる手立てが必要となる。そこでヒントになるのが、学校行事や年中行事を話題にしたコミュニケーションを図る活動を設定できないかということである。生徒の日常場面や普段の会話から考えると現実的な言語使用であり、表現内容を自然に持つことができるのではないだろうか。

このように、学校行事や年中行事を話題にした指導計画を作成することで、多様な自己表現が可能となり、実践的コミュニケーション能力の育成に有効ではないかと考えた。

イ 配慮事項

作成にあたり、投げ込み的に実施したのでは、意図的・系統的な指導とは言えないであろう。特設の指導計画が効果的に実施できるように、次のような点に配慮して作成することとした。

- ① 身近で、興味・関心の高い行事を取り上げる。表現内容を持つことが容易で、表現することへの意欲が高まることが期待できる。
- ② 言語材料や題材内容について、年間指導計画との関連を図り、学習内容を補充・発展できるように位置付ける。
- ③ 内容を精選し、生徒の負担加重にならないようにする。

3 授業実践Ⅰ

ここでは、2 研究の方法(1)で示した、年間指導計画の作成・実践による実践的コミュニケーション能力の育成についての実践例を載せる。

第3学年の実践の中から、Unit 5 “Rock Music -from the '50s to the '90s” (NEW HORIZON English Course 3) を取り上げて説明していく。

1 目標

本や映画などを話題に対話する場面において、自分の好きな登場人物を説明したり、ロックの歴史について学んだことや感じたことを伝え合ったりすることができる。

(1) 言語や文化に対する理解

ア 現在分詞・過去分詞の後置修飾の意味・用法を理解し、身近なことを表現できる。

イ 1950年代から1990年代までのロックの歴史を理解することができる。

(2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度

ア 本や映画などを話題に対話する場面において、様々な情報を加えて、登場人物を説明しようとする。

イ ロックの歴史について学んだことや感じたことを発表する場面において、気持ちや考えを加えて発表しようとする。

2 指導計画

言 語 活 動							コミュニケーションを図る活動 における対話で用いる文例
コミュニケーションを図る活動					言 語 材 料		
話 題	自己 表 現	言語の働き（概念・機能）			文法事項 ○：既習事項 の復習	語 彙 ◎：辞書の 活用	
□ 言語材料 ◇ 題材内容		考えを深める 情報を伝える	行動を促す 意志を表す	気持ちを伝える			
□登場人物を紹介 しようⅠ (学校での対話)		説明する <u>描写する</u>			現在分詞の 後置修飾 ○受け身形	本、映画、 一般動詞	The boy flying in the sky is ～.
□登場人物を紹介 しようⅡ (学校での対話)	◎	説明する <u>描写する</u>		感想を言う	過去分詞の 後置修飾	本、映画、 一般動詞 ◎	I like characters made by ～.
□登場人物を紹介 しようⅢ (学校での対話)	◎	説明する <u>描写する</u>		感想を言う	現在分詞・過 去分詞の後置 修飾	本、映画、 一般動詞	The girl ～ing ... is ～. She is in the story written by ～.
◇ロックの歴史に ついて学んだこ と (学校での対話)	◎	意見を言う 発表する		感想を言う		音楽の種類 歌手名	I understand ～. I [think/don't think] ～.
本課のまとめ							

3 評価計画（観点別評価規準）

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	本や映画などを話題に対話する場面において、様々な情報を加えて登場人物を説明しようとしたり、ロックの歴史について学んだことを発表する場面において、気持ちや感想を加えて発表したりしようとする。
表現の能力	現在分詞・過去分詞の後置修飾を用いて、自分の好きな登場人物について紹介したいことを話したり、書いたりして表現する。
理解の能力	ロックの歴史についての文を、聞いたり読んだりして、その内容を理解する。
言語や文化についての知識・理解	現在分詞・過去分詞の後置修飾の学習を通して、その文の意味・用法や、その運用についての知識を身に付けている。

4 指導方針

本課で扱う題材内容はロックの歴史、言語材料は現在分詞・過去分詞の後置修飾である。題材内容と言語材料との関連が密接ではないので、言語材料の定着をねらいとしたコミュニケーションを図る活動においては、題材内容とは異なる話題を設定し、生徒の自己表現が可能となるようにした。また、題材内容については、口頭導入の工夫、Q & Aによる内容理解の確認により、題材内容への理解を十分なものにし、その理解の深化をねらいとしたコミュニケーションを図る活動が円滑に進むよう配慮した。

5 授業の実際

指導計画の中から、コミュニケーションを図る活動の実践を取り上げ、その単位時間の授業の概要を述べていく。

(1) 登場人物を紹介しようⅠ

ア 目標

本や映画などを話題に対話する場面において、自分の知っている登場人物を説明することができる。

イ 展開の概要

(7) 現在分詞の後置修飾の導入

(1) 現在分詞の後置修飾の練習（絵の内容を表す練習）

(9) コミュニケーションを図る活動

ウ 指導上の留意点

教科書の口頭導入により、言語材料を導入する。言語材料を理解したり練習したりするために、information gap を利用した練習を設定し、多くの練習を確保する。次に、生徒にとって身近なキャラクターを取り上げ、繰り返し練習することにより、基本文に慣れることができるようにする。

また、既習事項の活用ということで、前課で学習した受動態をコミュニケーションを図る活動の中に意図的に取り入れ、その定着を目指す。

(2) 登場人物を紹介しようⅡ

ア 目標

本や映画などを話題に対話する場面において、自分の好きな登場人物を説明することができる。

イ 展開の概要

(7) 過去分詞の後置修飾の導入

(1) 過去分詞の後置修飾の練習（複数の話題を取り上げ自己表現をふまえての練習）

(9) コミュニケーションを図る活動

ウ 指導上の留意点

自己表現をしながら基本文の練習ができるような対話例を与え、本や映画だけではなく、テレビ番組、歌、絵画など、生徒にとってなじみがある話題により、言語形式と過去分詞の用法に慣れることができるようにする。

コミュニケーションを図る活動では、練習の内容がそのまま利用できるような話題を設

定する。また、事前に対話例を示すことにより、生徒が好きな登場人物を表現しやすくなるように配慮する。生徒の自己表現を可能とするために、必要となる語彙については、辞書の活用を図り、多様な表現が可能となるようにする。

(3) 登場人物を紹介しようⅢ

ア 目標

本や映画などを話題に対話する場面において、自分の好きな登場人物を説明することができる。

イ 展開の概要

(7) 現在分詞・過去分詞の後置修飾の練習（復習として）

(1) コミュニケーションを図る活動

ウ 指導上の留意点

くりかえし練習することにより言語材料の習熟を図るために、ペアで行う練習を設定する。多くの練習量を確保するために、ワークシートにチェックを入れる□を置き、目的を持った練習ができるようにする。

コミュニケーションを図る活動では、その話題を継続し、表現内容を容易に作りだすことができるようにする。また、表現内容の質が向上するように、二つの言語材料を総合的に使えるようにする。そのことにより、生徒の創意を生かした言語材料の活用が期待でき、その定着に有効な活動になると考える。

(4) ロックの歴史について学んだこと

ア 目標

ロックの歴史について学んだことや感じたことを伝え合ったりすることができる。

イ 展開の概要

(7) 教科書の本文の復習（音読・Q & A）

(1) コミュニケーションを図る活動

ウ 指導上の留意点

前時に、教科書の本文の導入、音読を行い、T・Fなどにより、内容理解を確認した。本時は、その復習を行い、内容理解が十分であるかどうかをQ & Aにより確認する。その後、コミュニケーションを図る活動を行い、生徒が理解したことに加え、自分の気持ちや考えを伝え合うことができるようにする。この対話で用いる“What do you understand about ~?”については、題材内容の理解の深化をねらいとするコミュニケーションを図る活動で毎回使っており、生徒にとって慣れ親しんだ表現形式となっている。

6 生徒の活動の実際

次の2ページにわたり、授業で使ったワークシートを載せる。言語材料を理解したり練習したりする活動や、コミュニケーションを図る活動で用いた対話例、そして実際に生徒が表現したことを見ることができる。

(1) 登場人物を紹介しよう I

★ Unit 5 Starting Out ★

No.27

1 Practice the key sentence.

(1) Make sure of the key sentence.

○ The boy playing catch is Tom.

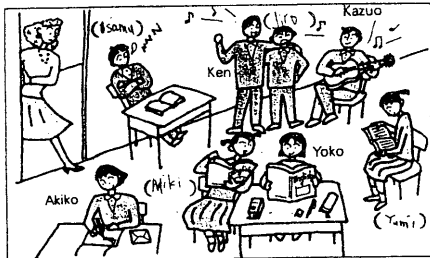
(2) Who is in the classroom?

A: Excuse me. Who is the [boy/girl] ~ing ...?

B: Well, I know the [boy/girl] ~ing

[He's/She's] []

A: I see.



2 Who is the girl flying in the sky?

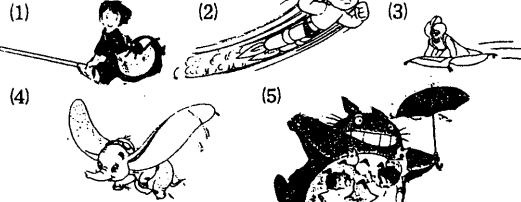
A: Excuse me. Do you know this?

B: Yes. The [] flying in the sky is ().

A: Oh, the [] flying in the sky is ().

B: Yes. []

A: I see.



(2) 登場人物を紹介しよう II

● Unit 5 Rock Music ●

No.28

1 Practice today's key sentence.

(1) Make sure of the key sentence.

You like lots of songs written by the Beatles.

(2) They did a wonderful job.

Ms. Takahashi broke the record made in 1999.

Ichiro broke the record made in 1911.

(3) Talk about these things.

A: Excuse me. What can you talk about?

B: I can talk about ().

I know some () ~ by ※ ~ = 過去分詞

A: Oh, [Repeat]

B: Yes. []

A: I see.

- ☒ books[written] ☒ movies[made] ☐ games[made]
☒ characters[made] ☒ songs[written/composed]
☒ pictures[painted] ☒ TV programs[acted/made]

3 Talk about the characters.

(1) Hold a dialog.

A: Excuse me. You see many characters.

B: Yes. The [] ~ing ... is ().

A: Oh, the [] ~ing ... is ().

B: Right. And () was made by []

A: Really?

B: Yes. []

A: I see.

☆ 映画や物語のキャラクターを話題に對話ができた。

☆ ~ing を用いてキャラクターの様子を表現できた。

A B C D
A B C D

(2) Report your dialogs.

I know the [] ~ing

The [] ~ing ... is ().

[He/She/It] was made by []

() said, "The [] ~ing ... is ()."

[]

(3) Write sentences.

I know the boy playing basketball.
 The boy playing basketball is Hanamichi Sakuragi.
 He was written by Takehiko Inoue.
 Mura said, "The lion keeping the peace
 of forest is Reo." "The king of forest Reo"
 is a very interesting story.

Class 1 Name

3 Talk about your favorite.

(1) Hold a dialog.

A: Excuse me. What will you talk about?

B: I'll talk about ().

I like () ~ by

A: Oh, [Repeat]

B: Yes. For example, []

A: Really?

B: Yes. []

A: I see.

☆ 気に入っているものを話題に對話ができた。

☆ 過去分詞(writtenなど)を用いて気に入っているものを表現できた。

A B C D
A B C D

(2) Report your dialogs.

I like () ~ by For example,

[] []

() said, "I like () ~ by" []

(3) Write sentences.

I like characters made by Walt Disney
 For example Mickey Mouse. He is
 popular in the world. I like him
 very much. Toshiko said, "I like
 comics written by Fujiko-F-Fujio"
 I think she likes Dragon

Class / Name

(3) 登場人物を紹介しようⅢ

● Unit 5 Starting Out ●

No29

1 Practice the key sentence.

(1) Make sure of the key sentence.

This is a famous picture taken in 1934.

(注: 分属)

(2) Look at the picture taken in Scotland.

A: Excuse me. Which picture will you talk about?

B: Well, look at the picture taken in ().

A: All right. I'll see the picture taken in ().

B: Yes. []

A: I see.

- ☐ New York ☐ Paris ☐ San Francisco
☐ Nazca ☐ Australia ☐ Hiroshima

2 Practice the key sentence.

(1) Make sure of the key sentence.

What's the black thing swimming in the water?

(注: 分属)

(2) Do you know Ken?

A: Excuse me. Do you know ()?

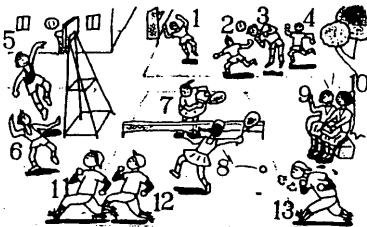
B: I know. The boy ~ing... is ().

A: Oh, [Repeat]

B: Yes. And [hint]

A: Is () number []?

B: That's right.



- ☐ Ken ☐ Mike ☐ Jiro ☐ Mary ☐ Emi ☐ Jane

3 Talk about the character.

(1) Hold a dialog.

A: Excuse me. What character do you know?

B: I know the () ~ing....

A: Oh, [Repeat]

B: Yes.

And [he/she/it] is in the [*] ~....

[] * story/movie/picture/...

A: Really?

B: Yes. []

A: I see.

☆ 興味のある本や映画などを話題に對話ができた。

☆ 二つの基本文を用いて取り上げたものを表現できた。

A B C D
A B C D

(2) Report your dialogs.

I know () ~ing....

[] is in the [] ~.... [] []

() said, "I know () ~ing...."

And [] is in the [] ~.... []

public bath

(3) Write sentences.

I know the girl working at a public bath. She is in the movie made by Hayao Miyazaki. She is Chihiro. She is younger than I. Kaori said, "I know the bear eating honey. And it is in the story by Disney." Pooh is cute.

Class / Name

(4) ロックの歴史について学んだこと

● Unit 5 Rock Music ●

No30

1 Talk about some singers.

A: Excuse me. Do you know any singers?

B: [Yes/No]. []

A: Who is the oldest of the four?

B: I think () is the oldest. []

A: Who is older, [] or []?

B: Well, I think [] is older than (). []

A: So [] is the newest.

B: Yes. []

A: I see.

2 Talk about the history of rock music.

A: Excuse me. What music began in the '50s?

B: () began. For example, (). []

A: What was the message of the '60s?

B: It was (). []

A: Then punk music was popular in the '70s.

Where was it from?

B: It was from []

A: What did musicians do in the '80s?

B: They []

A: Have you ever listened to "We're are the World"?

B: [Yes/No]. []

A: I see.

3 Talk about music.

(1) Hold a dialog.

A: Excuse me.

What do you understand about rock music?

B: I understand []

A: Anything else?

B: Well, I understand []

A: What can music do?

B: I think []

A: I see.

☆ ロックの歴史について理解したことを話題に對話ができた。

☆ []に自分なりの考えなどを入れて對話を広げようとした。

A B C D
A B C D

(2) Report your dialogs.

I understand []

And I understand []

I think []

() said, "()" []

(3) Write sentences.

I understand rock began in the '50s. But I don't know Elvis. And I understand musicians have a message. For example, "Let's make a better world." I think music changes the world. I hope so. Haruka said, "Music ^{can} help many people." Music is wonderful.

Class / Name

4 授業実践Ⅱ

ここでは、2 研究の方法(2)で示した、特設の指導計画の作成・実践による実践的コミュニケーション能力の育成についての実践例を載せる。

第3学年の実践の中から、4つの授業を取り上げ説明する。

1 授業の実際

(1) 本年度の学校行事

ア 実施時期 4月上旬

イ 年間指導計画との関連

既習事項の繰り返し指導（言語材料：助動詞willなど）における関連がある。

ウ 目標

学校行事を話題に対話する場面において、好きな学校行事を伝え合うことができる。

エ 評価

コミュニケーションへの 関心・意欲態度	学校行事を話題に対話する場面において、自分の好きな学校行事を、その理由や気持ちを加えて伝えようとする。
表現の能力	自分の好きな学校行事やその理由などを表現する。

(2) 修学旅行の思い出

ア 実施時期 4月下旬

イ 年間指導計画との関連

既習事項の繰り返し指導（言語材料：過去形・最上級など）における関連がある。

ウ 目標

修学旅行を話題に対話する場面において、気に入った見学地やその理由を伝え合うことができる。

エ 評価

コミュニケーションへの 関心・意欲態度	修学旅行を話題に対話する場面において、気に入った見学地やその理由を、様々な情報を加えて伝えようとする。
表現の能力	修学旅行での見学地やその理由を表現できる。

(3) 5月の年中行事

ア 実施時期 5月初旬

イ 年間指導計画との関連

既習事項の繰り返し指導（言語材料：助動詞willなど）における関連がある。

ウ 目標

5月の年中行事やゴールデンウィークを話題に対話する場面において、それぞれの行事の内容や予定を伝え合うことができる。

エ 評価

コミュニケーションへの 関心・意欲態度	5月の年中行事やゴールデンウィークを話題に、それぞれの行事の内容や予定を、様々な情報を加えて伝えようとする。
表現の能力	5月の年中行事の内容やゴールデンウィークの予定を表現できる。

(4) 冬休みの過ごし方

ア 実施時期 1月中旬

イ 年間指導計画との関連

既習事項の繰り返し指導（言語材料：過去形など）においての関連がある。

ウ 目標

冬休みを話題に対話する場面において、どのように過ごしたのかを伝え合うことができる。

エ 評価

コミュニケーションへの 関心・意欲態度	冬休みを話題に対話する場面において、どのように過ごしたのかを様々な情報を加えて伝えようとする。
表現の能力	冬休みの過ごし方を表現することができる。

2 生徒の活動の実際

授業で使用したワークシートを載せる。コミュニケーションを図る活動で用いた対話例、そして実際に生徒が表現したことを見ることができる。

(1) 本年度の学校行事

☆ OUR SCHOOL EVENTS ☆

1 What events will we have?

(1) Check our events.

A: Excuse me. When will you have ()?
B: We'll have () on [].
A: What will you do?
B: We'll []
A: I see.

(2) These are the events.

☒ School Concert ☒ Foundation Day
☒ Chorus Contest ☒ Sports Day
☒ School Festival ☒ Rope Jumping
☒ Good-bye Meeting

(3) Talk about the tests.

A: Excuse me. How many tests will you have?
B: We'll have () tests. []
A: Which subject will you study hard?
B: Well, I'll study [] hard. []
A: I see.

2 Which event do you like?

(1) Hold a dialog.

A: Excuse me. Which event do you like?
B: I like (). []
A: When will you have?
B: On [].
A: What will you do?
B: I'll []
A: Oh, really?
B: Yes. []
A: I see.

☆ 学校行事を話題に対話できた。

☆ []に自分なりの文を入れて対話を広げようとした。

☆ 本年度の学校行事について英語で表現できるようになった。

A B C D

A B C D

A B C D

(2) Report your dialogs.

I'll have many events. I like (). []
I'll have on []. I'll []
() said, "...." []

(3) Write sentences.

<p>I'll have many events. I like Sports Day. It's very fun. I'll have on September 22. I'll play twisters I hope we can get a victory again. Maki ko said, "I like Sports Day." I think Sports Day is the most popular event of all.</p>	<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 修学旅行の思い出

OUR SCHOOL TRIP

1 Ask these questions.

(1) Talk about Nara.

- ① What time did you get to the station?
- ② What did you do in the train?
- ③ What did you do in Nara Park?
- ④ What did you see on the second day?
- ⑤ What did you see in Asuka?
- ⑥ What did you like the best in Nara?

(2) Talk about Kyoto.

- ① What did you see in Kyoto?
- ② Anything else?
- ③ What did you eat for lunch? Where was it?
- ④ What did you buy? Where was it?
- ⑤ What did you do in the hotel?
- ⑥ What did you like the best in Kyoto?

(3) Talk about general things.

- ① What do you want to see again?
- I want to see ... again. Because
- ② What souvenir did you buy?
- I bought ... for []
- ③ What advice do you have?
- I think you should ... Because



(3) 5月の年中行事

We are in May

1 Talk about the events in May.

○ What do you have in May?

- A: Excuse me. What do you have in May?
B: We have [].
A: When is it?
B: It's [].
A: What will you do?
B: [I'll/I won't] [] ※won't=will not
A: Really?
B: Yes. []
A: I see.

- | | |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> Children's Day | <input checked="" type="checkbox"/> Clean Up Activities |
| <input checked="" type="checkbox"/> School Concert | <input checked="" type="checkbox"/> Foundation Day |
| <input checked="" type="checkbox"/> a test | <input checked="" type="checkbox"/> Sports Meets |
| <input checked="" type="checkbox"/> No Trash Day | <input type="checkbox"/> |

☆ 知っている英語を用いて、自分なりに行事を説明できた。

A B C D

2 How was your school trip?

(1) Hold a dialog.

- A: Excuse me. What did you do in Nara?
B: I []
A: How about in Kyoto?
B: I []
A: I see. What did you like the best?
B: I liked () the best. Because
A: Oh, really?
B: Yes. And I have some advice.
I think you should []
A: I see.

☆ 修学旅行を話題に対話できた。

A B C D

☆ []に自分なりの文を入れて対話を広げようとした。

A B C D

☆ 修学旅行の思い出を英語で言えるようになった。

A B C D

(2) Report your dialogs.

I'll tell you about my school trip.

I ... in [Nara/Kyoto]. []

And I liked () the best. []

() said, "...." []

I'll tell you about my school trip. I saw golden pavillion in Kyoto. It was gorgeous. And I liked silver pavillion the best. Because it was strange and the view was really nice. Mari said, "I ate mattucha parfait." I want to eat it.

Class II-I Name []

2 Talk about May.

(1) Hold a dialog.

- A: Excuse me. Do you like May?
B: [Yes./No.] []
A: What do you have in May?
B: We have (). [] []
A: What will you do this holiday week?
B: I'll []
A: Really?
B: Yes. []
A: I see.

☆ 5月の行事やゴールデンウィークの計画を話題に対話できた。

A B C D

☆ []に自分なりの文を入れて、対話を広げようとした。

A B C D

(2) Report your dialogs.

I [like/don't like] May. []

We have (). []

And I'll ... this holiday week. []

() said, "...." []

(3) Write sentences.

I like May. Because it's warm. We have Sports Meets. I will go outside and play basketball. And I'll practice basketball this holiday week. Because Sports Meets is coming. Mura said, "I'll practice soccer." I hope he will win the victory.

Class / Name []

(4) 冬休みの過ごし方

1 Talk about these customs.

(1) Talk about these things.

- ☒ 年越しそば = Year Crossing Noodles
 - ① Did you eat noodles on New Year's Eve?
 - ② Why do Japanese people eat them?
- ☒ 年越の鐘 = Year End Bell
 - ① Did you listen to the bell? Where?
 - ② Do you know where we can hit the bell?
- ☒ 初詣 = the first shrine visit
 - ① Did you visit the shrine? When and where?
 - ② How did you know the fire of Futaara Shrine?
- ☒ 七草がゆ = rice gruel
 - ① Did you eat rice gruel on the 7th?
 - ② Why do Japanese people eat it?
- ☒ 初売り = the first sale
 - ① Did you go shopping on New Year's Days? When and where?
 - ② Why is the first sale popular in Japan?

(2) Answer the questions like this.

- A: Excuse me. I have some questions about ().
 B: All right.
 A: [Question ①]
 B: [Answer] []
 A: [Question ②]
 B: [Answer] []
 A: I see.

2 Talk about our customs.

- A: What () do you have in January?
 B: We have []
 A: Anything else?
 B: Well, we have []
 A: I see.

- ☐ New Year's food ☐ games ☐ events ☐ customs
☐ sports ☐ TV programs

3 How was your vacation?

(1) Hold a dialog.

- A: Excuse me. What did you do in your vacation?
 B: I []
 A: Anything else?
 B: Well, I []
 A: Tell me something about this year.
 B: Well, I'd like to []
 A: I see.

☆ 冬休みの過ごし方や新年の抱負を話題に對話ができた。

A B C D

☆ 自分なりの文を加えて對話を広げようとした。

A B C D

(2) Report your dialogs.

- I ... in my vacation. []
 And I [] I'd like to ... this year.
 () said, "...." []

(3) Write sentences.

I studied in my vacation. I don't like studying
 And I watched TV programs. ^{They} were
 very interesting. I'd like to pass the
 entrance examination this year.
 Kanako said, "I watched Harry Potter."
 I want to watch and read it, too. ①

5 授業実践を行って

1 実践の結果

(1) 生徒の活動から

授業実践のところで載せたワークシートから診断すると、生徒がそれぞれの話題に対して、事実関係に加えて、自分の気持ちや考えを表現していることがわかる。

また、ペアを変えて活動することにより、お互いの気持ちや考えを伝え合うとともに、相手の気持ちや考えに対しての意見を述べるできるようになっている。

(2) 生徒からの感想から

単元末テストのあとで、授業を通して身に付いたことや感想など生徒に自由記述してもらった。その中から実践的コミュニケーション能力の育成に関わるものと思われるものを挙げてみる。

ア 自分の気持ちや考えを伝え合うことについて

○自分の趣味や長く続けていることについて、自分の言いたいことが表現できるようになった。

○現在完了形を習ったが、それにより昔から今までのことが話せるようになり、自己紹介で言えることが増えた。

イ 言語や文化に対する理解

○自分に必要な単語をたくさん知ることができた。

○言いたいことが、だんだん自力で表現できるようになった。

ウ コミュニケーションへの積極的な態度

○考え中のときは“Well,” , 自信がないときは“Maybe,” と言って、對話をつな

ることができるようになった。

○前よりも自信を持って話せるようになった。

以上の結果から、講じた手立てが有効であり、生徒が実践的コミュニケーション能力を見付けてきたことを考察することができるであろう。

2 研究についての考察

(1) 指導計画の重要性

指導計画作成の際には、課、学期、学年といった、長い目で見た視点が必要になる。課の指導計画にしても、まず、全体を見渡し、課が終わったあとの生徒の変容を、話題や言語の働きから設定し、ゴールを見据えた計画作成が大切であることが考察できた。そして、各課、各学期ごとに実践状況と学年目標とを照らし合わせ、指導内容を調整・修正し、計画的に実践的コミュニケーション能力の育成を図るとよいであろう。

(2) 自己表現の有効性

表現内容として取り上げた自己表現が、生徒の表現への意欲や語彙の学習に有効であることがわかる。自分のことを表現することは、コミュニケーションを図る活動が現実の言語使用に転移する可能性が高く、ALTとの協同授業においてそのことを体験できた。語彙については、加重負担にならないように配慮したが、生徒の様子からは、自身にとって必要な語彙を、学ぼうとする、知ろうとする態度に積極性を感じることができた。

3 今後の研究について

(1) 年間指導計画の系統性の検討

この3年間、実践的コミュニケーション能力の育成を目指して、第1学年から第3学年までの実践記録を残してきた。今後は、それらを学年目標との関連で修正・改善したり、学年ごとのコミュニケーションを図る活動の系統性を図ったりしなければならない。この作業をすることにより、3年間を見通した言語活動の取り扱いや、必要な内容を繰り返して指導しているかどうかなどを検討することができ、指導の効果を上げることができるようになると考えられる。

(2) 評価計画の改善について

現在国立教育政策研究所において研究が進んでいる「評価規準・評価方法等の研究開発」を受け、本校の評価計画を修正・改善し、目標の達成に努めたい。

【参考文献】

- | | | | |
|----------------|--------|---------------------|-------|
| 和田 稔 | (1999) | 『現代英語教育 2月号』 | 研究社出版 |
| 平田和人 | (1999) | 『中学校学習指導要領の展開』 | 明治図書 |
| 高橋正夫 | (2000) | 『英語教育 増刊号』 | 大修館書店 |
| 大下邦幸 | (2001) | 『東書教育情報 No.14』 | 東京書籍 |
| 文部省 | (1998) | 『中学校指導要領解説－総則編－』 | 東京書籍 |
| (現文部科学省) | | 『中学校学習指導要領解説－外国語編－』 | 東京書籍 |
| 宇都宮大学教育学部附属中学校 | (2001) | 『第46回公開研究発表会発表要項』 | |